

# 創価大学 スーパーグローバル大学創成支援 ロジックモデル

## インプット

### ◆SGU予算

- 人件費・謝金
  - ・専任教員
  - ・英語専門科目教員
  - ・海外招聘教員
  - ・専任職員

### ○旅費

- ・短期研修引率
- ・FD・SD海外派遣
- ・国際交流会議参加

### ○その他費用

- ・外国人留学生向けHP制作
- ・学内規程、文書翻訳
- ・国際シンポジウム等出展
- ・学内語学試験等実施
- ・海外傷害保険
- ・パンフ制作、印刷製本

### ◆大学予算

- 国際平和学研究所設置に係る費用(専任教員雇用等)
- 学内キャンパス整備費(国際学生寮の新設、ラーニング commonsのサービス強化)
- インバウンド・アウトバウンドに係る奨学金
- 語学試験の受験料補助
- 研究経費
- 海外事務所維持・運営費(人件費・施設利用料等)

・外国人留学生増加の取組

・外国語力基準達成者増加の取組

## アクティビティ

### グローバル・モビリティ

#### ○派遣学生に対する取組

- ・単位認定制度整備
- ・奨学金の整備
- ・留学情報ステーションにおける情報発信
- ・危機管理体制の整備  
※危機管理訓練実施(全学対象) 保険加入等徹底
- ・キャリアサポート

#### ○受入学生に対する取組

- 国際学生寮の拡充
- 奨学金の整備
- ・英語等による本学情報の積極的発信
- ・海外交流イベント参加による広報活動
- ・日本語・日本文化教育プログラムの拡充
- ・メンタルサポート
- ・キャリアサポート
- ・海外交流校等訪問、協議

### グローバル・ラーニング

#### ○協同学習・語学(10言語)で留学生とディスカッションを行う「ラーニング・commons」

- 語学教育の取組
- ・English for study abroad 科目の開講
- ・外国語力アセスメントの強化
- ・受験料支援制度の拡充
- ・英語で学ぶ学部専門科目の拡大

### グローバル・アドミニストレーション

- 外国人教員等の積極的採用
- 自己点検・評価と外部評価の実施
- 学内文書等の英語化
- 事務職員海外派遣(フィールドワーク等)

### グローバル・コア

- グローバル・コア・センターの設置
- 国際平和学研究所の設置

## アウトプット

### ◆学生

#### ○外国人留学生の増加(2013年313人→2018年866人)

- 日本人学生の留学増加(2013年557人→2018年873人)
- アフリカ諸国への派遣者数増加(2013年13人→2018年36人)
- ・海外ボランティア・インターンシップの参加者増加
- ・海外修学体験を持つ看護師・教員従事者の輩出
- 外国語力基準(TOEFL-IBT80相当以上) 達成学生の増加(2013年296人→2018年1228人)

### ◆教員・職員

- 外国人教員等の増加(2013年138人→2019年196人)
- ・国際通用性を見据えた教員評価システムの導入
- ・職員の国際対応力向上

### ◆授業

- English Track(英語のみで卒業可能なコース)の増加(2013年1コース→2019年11コース)
- ・英語による授業科目の増加(2013年120授業科目→2018年623授業科目)

### ◆大学

- グローバル・コア・センターによる学部・研究科、研究所の連携強化
- 海外交流校の増加(2013年148校→2018年212校)
- 海外拠点の増加  
※中国に加え、韓国、タイ、フィリピンに新設
- 研究交流の推進
- 国際バカロレア等の活用

## 初期アウトカム

### ◆教育

- ・キャンパスの多様化
- ・留学意識の向上
- ・海外研修による学習効果の向上(BEVI-j、VALUEルーブリックで測定)
- ・共通科目「世界市民教育科目群」の開設
- グローバル企業への内定者数増加(2013年103人→2017年161人)
- 海外大学院合格者数増加(2013年30人→2017年43人)

### ◆研究

- ・研究成果の発信(私立大学研究ブランディング事業をエチオピアで、SATREPS事業をマレーシアで実施)
- ・国際会議、シンポジウム(ASAIHL「東南アジア高等教育協会」総会他)の開催
- ・国際平和学研究科では教員9名中外国人7名、全学生は外国人留学生でスタート

### ◆ガバナンス

- グローバル・コア・センターによる国際関係事項の迅速な意思決定、研究交流推進
- ・事務局の各部署で外国語対応(英・中・韓)

## 中・長期アウトカム

### ◆人間教育の世界的拠点の構築

- 「平和」「人権」「開発」「環境」分野の研究・教育活動の推進
  - ・論文数の増加
  - ・国際共同研究の増加
- SDGsの取組、国際機関との連携推進
  - ・本学50周年(2021年)記念事業として推進
- 大学の国際競争力強化
  - ・各種大学ランキングでのランクアップ

### ◆平和と持続可能な繁栄を先導する「世界市民」教育・研究

- 多様性あるキャンパス、国際通用性のある教育、国際研究協力による「世界市民」教育・研究の推進
- 修士課程 英語教育専修(TESOL)の国際認証評価獲得

### ◆補助金終了後の大学グローバル化関連事業の自走化

- 同窓会組織等より10年間の寄付金募集、取組の継続推進のための基金化

## インパクト

▶「人間教育の世界的拠点の構築」を通じ、「平和」「人権」「開発」「環境」分野について、国内外諸大学・研究機関とのハブ機能を果たし、国際社会に教育・研究成果を還元

▶「世界市民」教育・研究を通じ、English Trackと国際平和学研究所等による世界基準の通用性、「人間教育」の独自性を活かし、日本の大学のグローバル化を先導

### >>> インパクト達成に向けた取組 <<<

- 本学「Grandデザイン2021-2030」において、国際戦略として「本事業の成果をもとに発展的な目標を設定した中長期計画」を策定
- SGU事業成果の他大学との共有・普及・展開
- 「価値創造教育」に関する国際共同研究
- アメリカ創価大学、本学姉妹校(創価高校・関西創価高校/いずれもSGH採択)との連携拡充